

# みやぎ大崎バイオディーゼル燃料流通システム技術実証事業

## ＜既存車両＞



原料回収車(H12式)



原料回収車(H10式)



製品運搬車(H12式)



製品運搬車(S63式)

既存の原料回収車やBDF製品運搬車は老朽化が著しく故障や修理が頻繁に起こる。原料提供者や工事現場では定期回収・安定供給が信頼につながる。約15年を経過した車両の更新は急務である。

## ＜新規車両＞



①原料回収車(小型)



②原料回収車(ドラム缶)



③原料回収車(吸引型)



④製品運搬車(中型)

- ①小型原料回収車により狭い路地の飲食店回収の効率上がる。
- ②また県外のドラム缶回収の際、アルミバンにより安全な回収出来る。
- ③強力な吸引力により冬期間でも原料の調達ができ1年を通して安定回収出来る。
- ④老朽化した製品運搬車に代わり距離のある沿岸部や他県への燃料供給が可能になる。

# みやぎ大崎バイオディーゼル燃料流通システム技術実証事業

## <既存施設>



①原料貯蔵タンク

②原料受入施設

③メタノール保管



④小型ディーゼル発電機

⑤簡易給油設備



## <新規施設>



①原料貯留設備

②原料受入れ施設

③メタノール貯留設備



④ユーティリティー設備

⑤製品貯留設備ならびに供給設備

- ①既存の原料貯蔵方式では簡易タンク（1kl）を二段重ねで貯留している為に不安全である。
- ②手狭になった原料受入れスペース
- ③現在ドラム缶2本分に限りメタノールを貯留保管している。製造効率が悪い。
- ④容量不足になったディーゼル発電機
- ⑤400L程度しか製品貯留出来ず、供給設備もポータブル給油機

- ①安全面からも防油堤付きの屋外タンクを2基設置する。
- ②手狭になった原料受入れ作業場兼原料回収容器保管施設を新たに建設する
- ③製造コスト・安全面を考えメタノール受入れるため貯留設備（保管庫）を設置する。
- ④これら設備に対応するため新規にディーゼル発電機を導入する。
- ⑤簡易的な一般取扱所（給油設備）を改良し、製品貯留タンクを地下に埋設し高速給油機を設置する。